

コラボ企画
with
人材育成コンサルタント

旭化成ホームズ

- 時期： 9月上旬
- 日程： 1泊2日
- 参加人数： 17名

目的：

リーダーとしての覚悟、部下・同僚との関わり方を見つめ直す。

■ 行程

	時間	行程	備考	
初日	移動	7:20 - 8:30	名古屋小牧空港～いわて花巻空港	FDA351
		8:50 - 10:50	いわて花巻空港～大槌町	チャーターバス
		11:00 - 12:00	▷ 語り部ガイド	
		12:00 - 13:00	昼食	
		13:00 - 15:00	▷ ワークショップ：クロスロード	
		15:00 - 17:00	▷ 地元リーダーから学ぶ①	
		17:30	宿泊先へ（釜石市内）	
2日目		8:30 - 11:00	▷ 地元リーダーから学ぶ②	
	移動	12:00 - 16:00	大槌町～遠野（昼食・観光）～いわて花巻空港	チャーターバス
		16:30 - 17:40	いわて花巻空港～名古屋小牧空港	FDA356

*旅行手配：岩手県北観光



研修ハイライト



■地元リーダーから学ぶ①： 起業した「お母さん」との対話

2児を抱え、被災後、食堂を立ち上げた女性の話を聞きました。被災した町に対する思い、母親としての子供たちへの責任、起業への恐怖、不安。けれど、こども達に「生き様」を見せるという覚悟。それら全てを聴き、「なぜ、仕事をするのか」という根本的な問いに向き合いました。

■地元リーダーから学ぶ②： 高校生からの気づき

部下を育てるとはどういう事なのか。何を育てるのか。そんな悩みや、日常的に若い世代に不満を募らせている中堅の社員達。

そんな彼らだからこそ、敢えて、中学時代不登校だった若者（現高校生）と対話してもらい、彼女が被災後なぜ成長し、開花していったきっかけを聞きました。

彼女の成長を支えた周りの大人の「彼女への信頼」と、彼女の抱える将来や自分への期待や不安が、自分の部下と重なり、自分の部下を見つめ直し、自分と部下との関わり方を見つめ直すきっかけになりました。



○人材コンサルタントとの協同企画・実施について：

当団体が行う「気づき」のためのワークショップと、人材コンサルタントが行う「振り返り」の時間を交互にとりました。

これにより、研修での「学び・気づき」を、自分の行動に落としこむための内省に繋げることができ、「行って良かった」だけでは終わらない研修にすることが出来ました。

参加者の声

- 様々なワークショップを通して、リーダーとしての自分の役割は、人材を成長させる事だと実感した。（40代 男性）
- 今回の研修を受けて、まずは、自分の部下に興味をもち、期待することからやり直そうと思った。（40代 男性）
- ワークショップを通して、今までは「結論ありき」の姿勢でしか人（部下）の話聞いていない自分に気づいた。（50代 男性）
- リーダーとは、答えを知っている人ではなく、様々な人の意見を、「聴き・感じる」ことが出来る人なのだと気づいた。（50代 男性）
- 高校生からも教えられることが驚きだった。ならば、部下から教わることもある事に、自分が気づいていないだけでは？と思った。自分の固定概念を覆された。（40代 男性）